

DXP/DXA遠隔設定ツール

操作説明書

目次

1. はじめに	1
2. ソフトウェアの概要	2
3. 動作環境	3
4. セットアップ	4
5. 起動及び機器接続	5
6. ソフトウェアの複数起動	8
7. 接続後の画面表示	9
8. アラーム設定	11
9. 記録開始	15
10. 記録停止	15
11. メッセージ	16
12. フリーメッセージ	17
13. バッチ	17
14. 時刻設定	18
15. システム情報	18
16. バージョン情報	18
17. エラーメッセージ	19

DXP/DXA 遠隔設定ツール
VirSION 1.1.0.0

第一版：平成22年7月：VirSION 1.1.0.0

1. はじめに

DXP/DXA 遠隔設定ツール（以下、本ソフトウェア）は、横河電機㈱のデータ収集医薬品モデル DX100P・DX200P（以下、DXP）及び DXAdvancedR4 の拡張セキュリティ機能 DX1000/AS1・DX2000/AS1（以下、DXA）の記録開始・停止・アラーム設定・メッセージ入力・バッチ情報入力・スナップショット表示・画面切替操作・時刻設定を、ネットワーク接続されているPCから行えるソフトウェアです。これらの機能により、DXP に対しては操作パネルを操作することなく、DXA に対しては記録を停止することなく、遠隔でアラーム設定を行うことが可能です。

●注意事項

本ソフトウェアをご利用頂く場合、以下の点にご注意下さい。

- ①本ソフトウェアは著作権法上の著作物としての取り扱いを受けますので、当社に無断で複製することはできません。
- ②当社では、本ソフトウェアを使用した結果、又は本ソフトウェアの使用に起因する結果によって発生する影響に関しては、一切の責任を負わないものとします。
- ③パッケージ開封の際にご同意頂きました「ソフトウェア使用権許諾契約書」の内容を再度ご確認ください。

2. ソフトウェアの概要

DXP/DXA 遠隔設定ツールは、ネットワーク接続されている DXP/DXA に対して、以下の設定が行えます。

- 機器接続 I Pアドレス、ユーザー名、ユーザー I D、パスワードを入力して接続します。
- アラーム設定 DXP/DXA のアラームを設定し、送信・受信します。
- 記録開始 DXP/DXA の記録（メモリ・演算）を開始します。
- 記録停止 DXP/DXA の記録（メモリ・演算）を停止します。
- メッセージ DXP/DXA へのメッセージ設定、及び選択したメッセージを書き込みます。
- フリーメッセージ DXP/DXA へフリーメッセージを書き込みます。
- バッチ バッチ番号・ロット番号・バッチコメントを登録します。
- スナップショット DXP/DXA のスナップショットを表示します。
5秒毎の自動更新、F 5キーによる手動更新が行えます。
- 画面切替 各種グラフ及びグループ切り替え、サマリ画面を表示できます。
- 時刻設定 DXP/DXA へ時刻を設定します。
- システム情報 接続した機器の情報を取得し表示します。

各操作は、接続した機器に対してのみ行えます。複数台の DXP/DXA に対して設定する場合は、機器接続で別の機器に接続して各操作を行って下さい。

また、本ソフトウェアは複数起動が可能です。起動したソフトウェア毎に、異なる機器に接続して表示・設定することができます。

通信で接続するため、DXP の場合はユーザー登録のログイン種別を **Key+Comm** 又は **Comm** を設定して下さい。DXA の場合はセキュリティの通信をログインに、ユーザー登録のモードを **Key+Comm** 又は **Comm** に設定して下さい。

一般ユーザーで接続した場合、ユーザー毎に設定されている操作権限により、操作できない機能があります。

その他の設定は、本体機器及び **DAQSIGNIN** 又は **DAQSTANDARD** にて行って下さい。

本体機器及び **DAQSIGNIN**、**DAQSTANDARD** の操作は、各マニュアルを参照して下さい。

3. 動作環境

- OS Windows2000 (SP4以降) /XP/Vista/7 (但し、32bitOSのみ)
- CPU Pentium4以上
- メモリ 512MB以上 (OSにより、快適に動作する容量を搭載して下さい。)
- ハードディスク 本ソフトウェアはファイルを作成しませんので、2MB程度の容量があれば動作します。但し、OSが快適に動作する為に、ある程度空き容量が必要です。
- インターフェース DXP/DXAとの接続はEthernetのみです。
DXP/DXAとPCとの間で、ネットワーク接続ができるようIPアドレス・サブネットマスク等の設定を行って下さい。
また、ファイアーウォール・ウイルス監視ソフトを使用される場合は、本ソフトウェアがブロックされないよう設定して下さい。
- CDドライブ 本ソフトウェアのインストール用に必要です。
- ディスプレイ 800×600ドット以上。
- 対象測定機器 データ収集ステーション医薬品モデル DX100P・DX200P
DXAdvancedR4 拡張セキュリティ機能 DX1000/AS1・DX2000/AS1
同時に接続・設定できるのは、1台のみです。
但し、ソフトウェアは同時に複数起動が可能です。

4. セットアップ

DXP/DXA 遠隔設定ツールのセットアップは、次の手順で行います。

1. パソコンを起動します。
2. DXP/DXA 遠隔設定ツールのCDをセットします。
3. 自動的にセットアップが始まります。
始まらない場合は、CDの **Setup.exe** をダブルクリックして下さい。
セットアップ画面が表示されます。
以降は、画面の指示に従ってセットアップして下さい。

セットアップ先のデフォルトは「C : ¥Program Files¥DXPDXA 遠隔設定ツール」です。

セットアップ終了後は、デスクトップ及びスタートメニューに「DXPDXA 遠隔設定ツール」のアイコンが登録されます。プログラム自体は、指定したフォルダに保存されます。

4. アンインストール

アンインストールする場合は、コントロールパネルのプログラムの追加と削除で行って下さい。

5. DXP/DXA 遠隔設定ツールのファイル

インストールされるファイルは以下の通りです。

●DxpCom.exe	プログラム実行ファイル
●DXPDXA 遠隔設定ツール操作説明書.pdf	操作説明書
●uninst.isu	アンインストール情報ファイル

本ソフトウェアは、**DxpCom.exe** を起動するだけで実行可能であり、他のサブプログラム等の付随的なファイルを必要としません。

また、本ソフトウェアを動作することにより作成・変更されるファイルやレジストリはありません。

6. Windows ファイアウォールの設定

OSによっては、機器検索や設定送受信で通信がブロックされる場合があります。
その場合は、Windows ファイアウォールの設定で下記のポートを開放して下さい。

TCP/IP 34260
UDP 34264

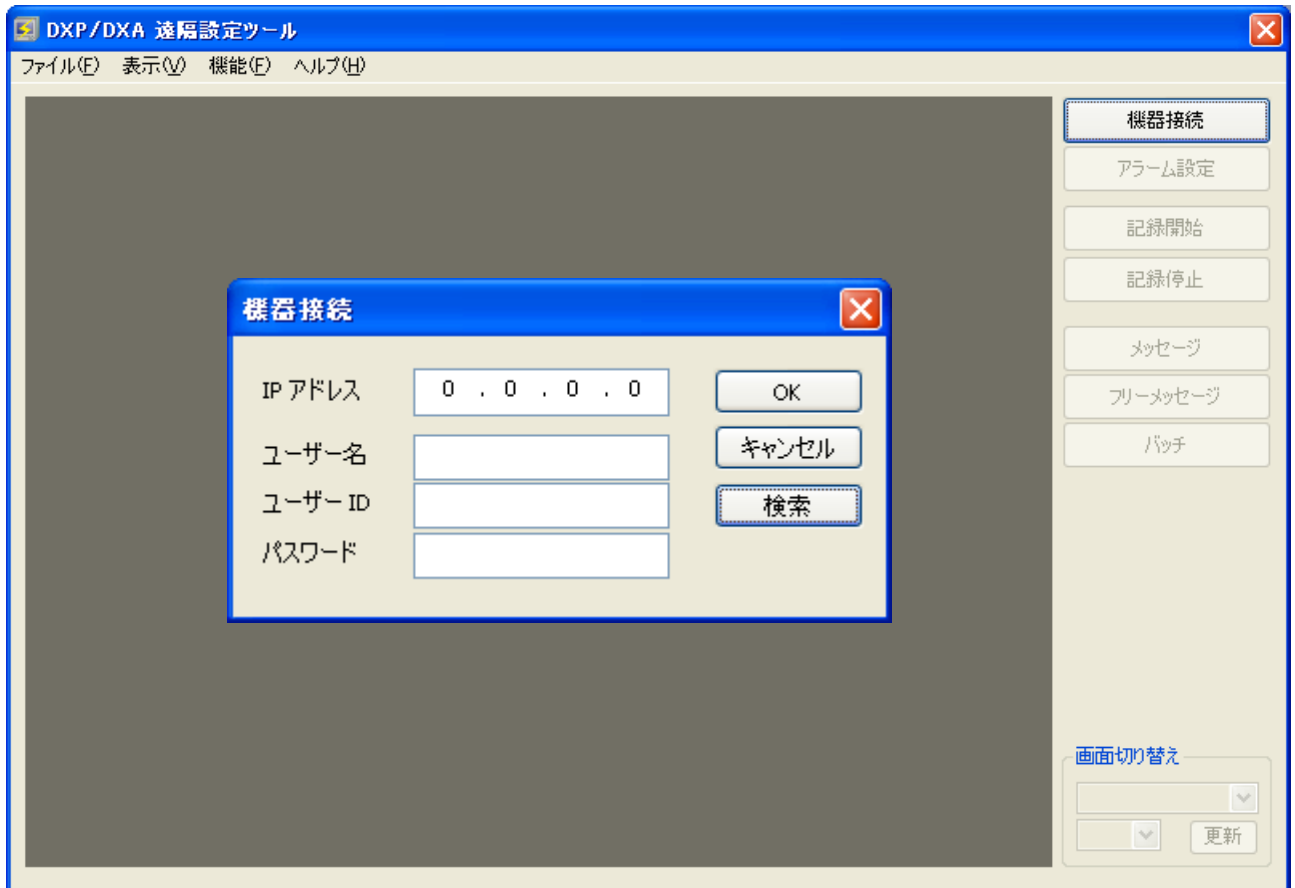
5. 起動及び機器接続

DXP/DXA 遠隔設定ツールは、セットアップで登録されたデスクトップのアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューから選択することにより起動します。

又は、CDからセットアップせずに、CDの **DxpCom.exe** をダブルクリックすることでも起動できます。



デスクトップアイコン



起動すると、DXP/DXA に接続するための機器接続画面が表示されます。

接続する DXP/DXA の IP アドレス / ユーザー名 / ユーザー ID / パスワードを入力して OK ボタンをクリックして下さい。

又は、検索ボタンをクリックすると、ネットワーク上の DXP/DXA を検索して一覧表示されます。



一覧から接続する DXP/DXA を選択すると、機器接続画面の IP アドレスには選択した DXP/DXA の IP アドレスが表示されます。

DXP で、同一ユーザーがログインしているとエラーとなります。DXA の場合は、マルチログイン機能が有効でない場合は、他ユーザーがログインしている場合はログインできますが、各設定送信時にエラーとなります。

機器接続ボタン又はファイルメニューの「機器接続」を選択した場合も、機器接続画面が表示されます。各操作終了後、別の DXP/DXA に接続する場合は、機器接続ボタンをクリックして該当する DXP/DXA に接続して下さい。

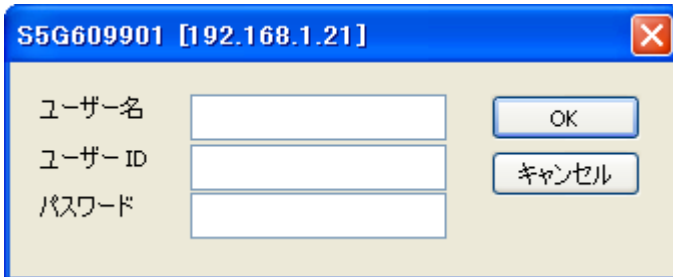
※DXP は、パスワードを3回連続で間違えると、そのユーザー名ではログインできなくなります。

DXA は、指定した回数連続で間違えると、そのユーザー名ではログインできなくなります。

DXP/DXA の設定で、ユーザー ID無しに設定されている場合は、ユーザー IDの入力は必要ありません。

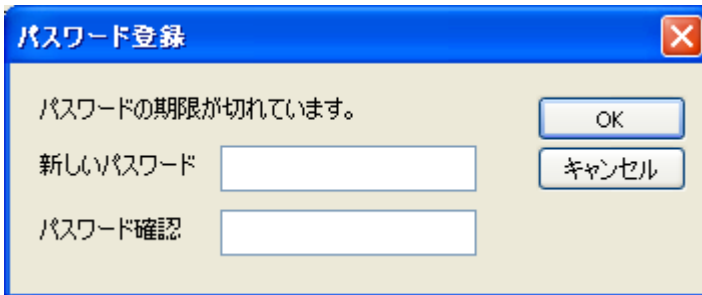
※3分間何も操作しないと、自動的にログアウトされます。

3分経過してから次の操作を行おうとした場合、下記画面が表示されますので、ユーザー名/ユーザー ID/パスワードを入力して下さい。タイトルバーには接続していた IP アドレスが表示されています。



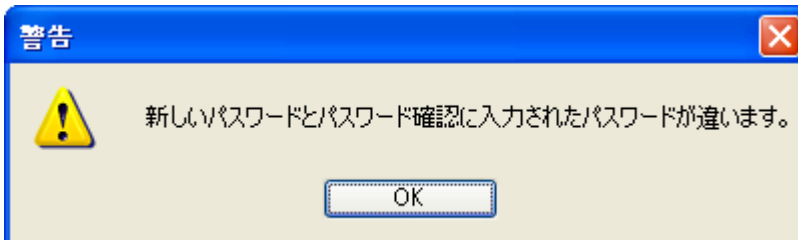
A login dialog box with a blue title bar containing the text "S5G609901 [192.168.1.21]". The dialog has three input fields: "ユーザー名" (Username), "ユーザー ID" (User ID), and "パスワード" (Password). To the right of the input fields are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

※パスワードの有効期限が切れていると、パスワード登録画面が表示されますので、新たにパスワードを登録して下さい。



A password registration dialog box with a blue title bar containing the text "パスワード登録". The dialog contains a message: "パスワードの期限が切れています。" (Password validity period has expired). Below the message are two input fields: "新しいパスワード" (New Password) and "パスワード確認" (Password Confirmation). To the right of the input fields are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

新しいパスワードとパスワード確認が異なると警告メッセージが表示されます。



A warning dialog box with a blue title bar containing the text "警告". The dialog contains a yellow warning icon and a message: "新しいパスワードとパスワード確認に入力されたパスワードが違います。" (The password entered in the new password and password confirmation fields does not match). Below the message is one button: "OK".

※一般ユーザーで接続すると権限が無いため、アラーム設定の送信時にエラーとなります。

※選択した機能の権限が無い一般ユーザーで接続すると、設定送信時にエラーとなります。

6. ソフトウェアの複数起動

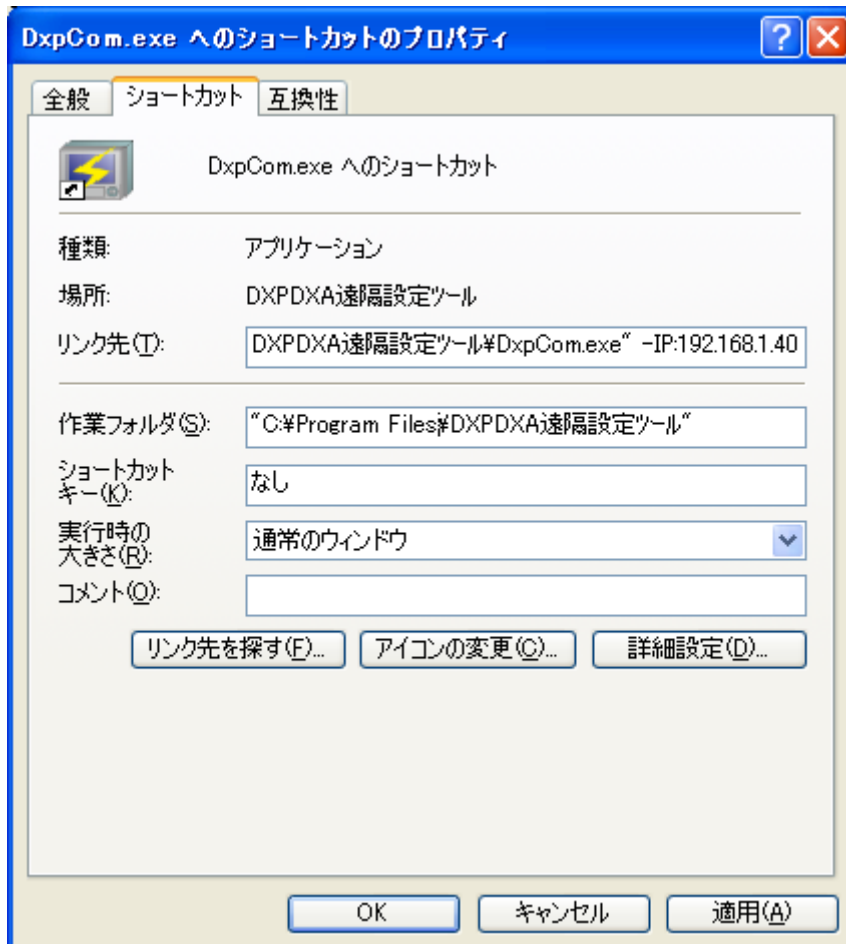
本ソフトウェアは複数起動が可能です。

デスクトップのショートカットから機器の台数分ソフトウェアを起動し、それぞれ別々の DXP/DXA に接続できます。

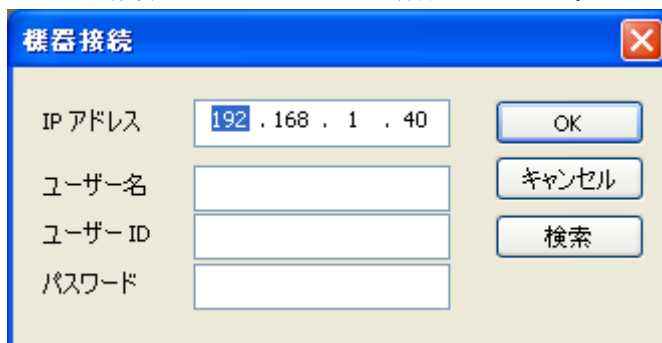
また、ショートカットの引数に機器の IP アドレスを指定すると、ソフトウェア起動時に IP アドレスが入力された機器接続画面が表示されますので、IP アドレスの入力を省くことができます。

ショートカットのプロパティでリンク先の末尾に、-IP: の後に IP アドレスを指定して下さい。

-IP の前は 1 スペース空けて下さい。

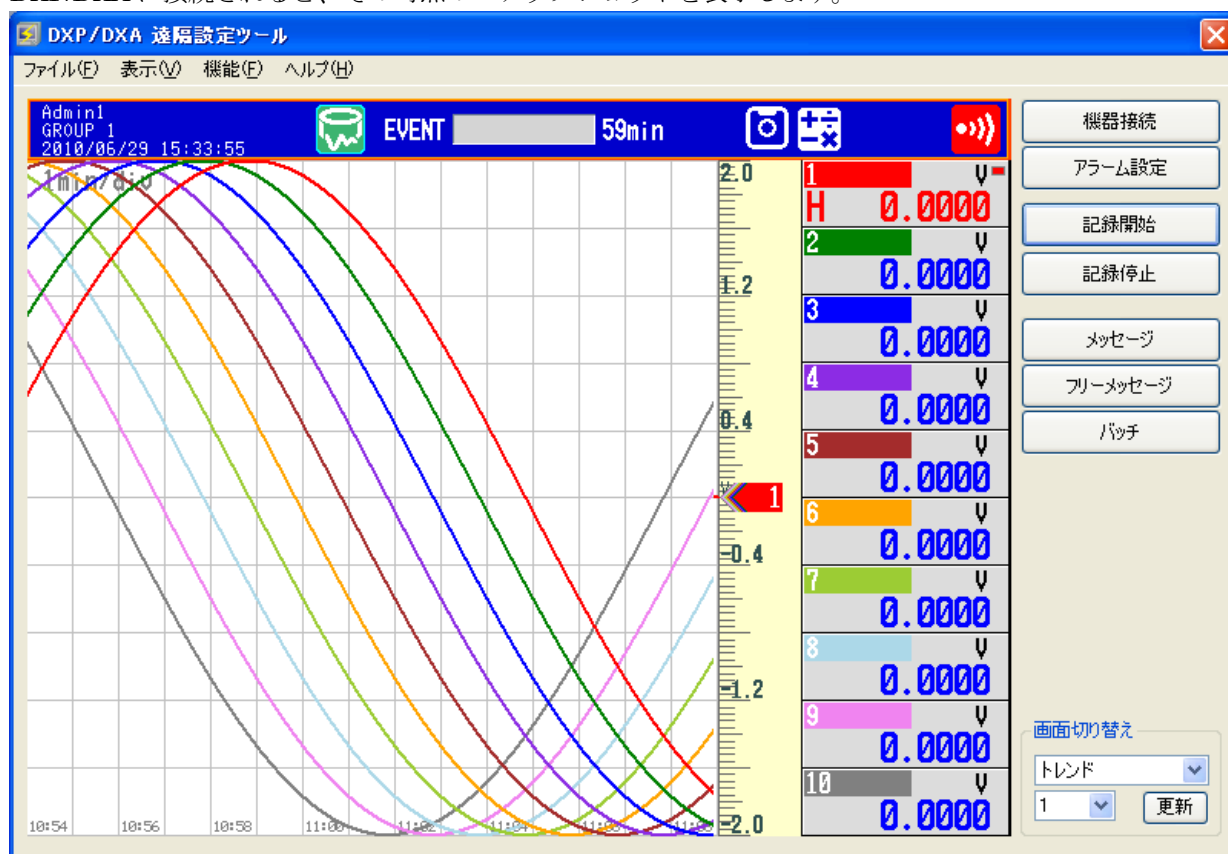


上記のショートカットから起動すると、IP アドレスが入力された状態の機器接続画面が表示されます。必要な台数分のショートカットを作成して下さい。



7. 接続後の画面表示

DXP/DXA に接続されると、その時点のスナップショットを表示します。



この画面の各ボタンをクリックするか、メニューから選択して以降の各操作を行います。

●メニュー

ファイル	表示	機能	ヘルプ
機器接続※	最新に更新(F5)	記録開始※	バージョン情報
終了	自動更新	記録停止※	
	システム情報	アラーム設定※	
		メッセージ※	
		フリーメッセージ※	
		バッチ※	
		時刻設定	
		イメージ保存	

※は、画面のボタンと同機能です。

各操作は、システム管理者か該当する機能の操作権限を持つ一般ユーザーでないと設定送信できません。

●スナップショット

表示メニューの「自動更新」を選択すると、5秒間隔でスナップショットが自動更新されます。

もう一度選択すると、自動更新をストップします。

手動での更新は、表示メニューの「最新に更新」を選択するか、キーボードの F5 キーを押下して下さい。

●イメージ保存

機能メニューの「イメージ保存」を選択すると、名前を付けて保存画面が表示されます。

表示中のスナップショットを保存することができます。拡張子はPNGです。

●画面切り替え

画面右下のボックスから表示する画面とグループを選択して更新ボタンをクリックすると、選択した画面に切り替わります。各種サマリは、グループを選択しても無意味です。

DXP/DXAにより選択できる画面が異なります。

DXAはオプションの有・無、及び機能の使用・未使用により選択できる画面が異なります。

本体の DISP/ENTER を押して選択できる画面とは異なります。

8. アラーム設定

※アラーム送信を行うには、システム管理者で接続して下さい。

メイン画面のアラーム設定ボタンをクリックすると、DXP/DXA からアラーム設定情報を受信して一覧表示します。機能メニューの「アラーム設定」も同機能です。

一覧画面は、最大化表示や任意の大きさにウィンドウサイズを変更できます。

Ch	タグ	単位	アラーム1	設定値	リレー	アラ
Ch01	^ヤ1オト	°C	H	40.0	I01	H
Ch02	^ヤ1シツ	%RH	H	80.0	I01	H
Ch03	^ヤ1オト	°C	H	40.0	I01	H
Ch04	^ヤ1シツ	%RH	H	80.0	I01	H
Ch05	^ヤ1オト	°C	H	40.0	I01	H
Ch06	^ヤ1シツ	%RH	H	80.0	I01	H
Ch07	^ヤ1オト	°C	H	40.0	I01	H
Ch08	^ヤ1シツ	%RH	H	80.0	I01	H
Ch09	^ヤ1オト	°C	H	40.0	I01	H
Ch10	^ヤ1シツ	%RH	H	80.0	I01	H
Ch11		°C	Off	0.0	None	Off
Ch12		°C	Off	0.0	None	Off
Ch13		°C	Off	0.0	None	Off
Ch14		°C	Off	0.0	None	Off
Ch15		°C	Off	0.0	None	Off
Ch16		°C	Off	0.0	None	Off

設定するチャンネルをダブルクリックするか、選択して設定ボタンをクリックすると、チャンネル単位の設定画面が表示されます。

チャンネルを選択するとき、複数チャンネルを選択すると、設定した内容が選択した全てのチャンネルに反映されます。チャンネル選択は、Shift キーや Ctrl キーを押しながら選択すると複数選択できます。

チャンネル一覧画面にはタグと単位も表示されますが、設定できるのはアラーム種類・設定値・リレーのみです。設定値はレンジの範囲内でないと送信時にエラーになります。

	種類	設定値	リレー
アラーム1	H	40.0	I01
アラーム2	H	35.0	I02
アラーム3	L	15.0	I02
アラーム4	L	10.0	I01

各項目を設定しOKをクリックして下さい。

●アラーム種類

選択できる種類は、チャンネルのレンジモード及び演算チャンネルによって異なります。

- 電圧・TC・RTD・DI・スケール・SQRT Off/H/L/R/r/T/t
- DELTA Off/H/L/h/l/R/r/T/t
- SKIP Off
- 演算チャンネル Off/H/L/T/t
- 演算チャンネルが演算 Off Off

●設定値

設定値は、チャンネルのレンジ範囲外の値を設定すると、送信時にエラーとなります。

●リレー

リレーは、DXP/DXA のオプションに関係なく、以下から選択できます。

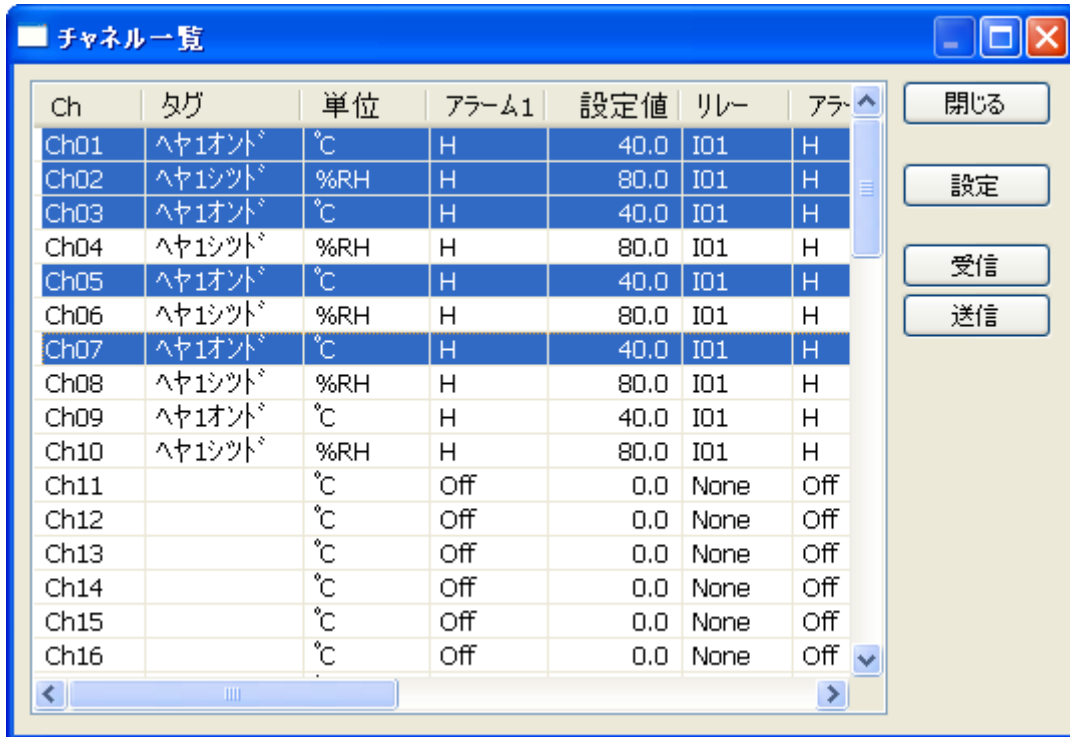
- DX100P、DX1000 I01～I06
- DX2000、DX2000 I01～I06/I11～I16/I21～I26/I31～I36

実際にDXP/DXA に搭載されている出力リレーに合わせて設定して下さい。

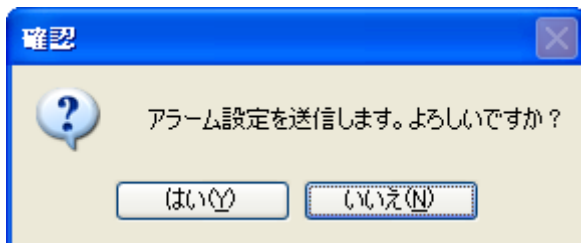
DXP/DXA に搭載されていない出力リレーを選択・送信してもエラーにはなりません。

チャンネル毎のアラーム設定が終了したら、送信するチャンネルを選択します。送信対象は、選択されているチャンネル（反転表示）のみです。

チャンネル選択は、Shift キーや Ctrl キーを押しながら選択すると複数選択できます。



送信チャンネルを選択したら、送信ボタンをクリックします。



確認画面で「はい」をクリックすると、DXP/DXA に送信されます。

送信ボタンをクリックした時の DXP/DXA の状態により、以下のような処理が行われます。

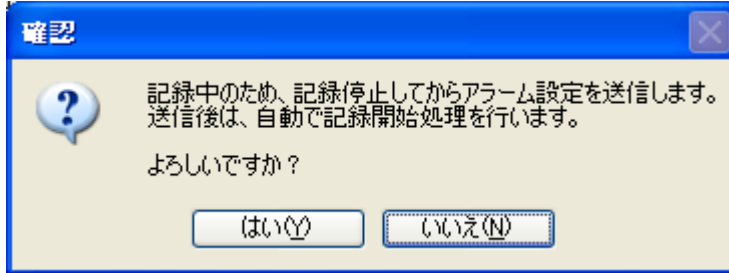
●DXP の場合

○記録中の時

記録停止 ⇒ アラーム設定を送信 ⇒ 記録開始を自動で行います。

記録開始・停止は、演算オプション (/M1) があるときは、演算の開始・停止も行います。

送信ボタンをクリックしたとき、以下の確認画面が表示されます。



○記録停止の時

アラーム設定を送信 (送信後は記録開始は行いません)

●DXA の場合

記録中であっても、記録を停止せずにアラーム設定を送信します。

受信ボタンは、DXP/DXA からアラーム設定値を受信します。

但し、メイン画面のアラーム設定ボタンをクリックし、チャンネル一覧画面が表示された時点で全チャンネルのアラーム設定値を受信しています。

※アラーム設定送信途中でレンジ範囲外によりエラーになったときは、そこで処理が中断され以降のチャンネルの設定送信は行われません。

また、一般ユーザーでアラーム送信した場合は、記録停止後アラーム送信段階でエラーとなり、そこで処理が中断されます。

DXP の場合はこれらのエラーで処理が中断されると、記録中の場合、記録開始処理は行われません。正しい設定値を送信又は管理者ユーザーで送信後、記録開始処理を行って下さい。

9. 記録開始

※記録開始を行うには、システム管理者か記録開始権限を持った一般ユーザーで接続して下さい。

メイン画面の記録開始ボタンをクリックすると、DXP/DXA のメモリ記録が開始されます。

機能メニューの「記録開始」も同機能です。

DXP/DXA に演算オプション (/M1) があるときは、演算も開始します。

DXP は既に記録中の時、記録開始ボタンをクリックすると、エラーとなります。

10. 記録停止

※記録停止を行うには、システム管理者か記録停止権限を持った一般ユーザーで接続して下さい。

メイン画面の記録停止ボタンをクリックすると、DXP/DXA のメモリ記録を停止します。

機能メニューの「記録停止」も同機能です。

DXP/DXA に演算オプション (/M1) があるときは、演算も停止します。

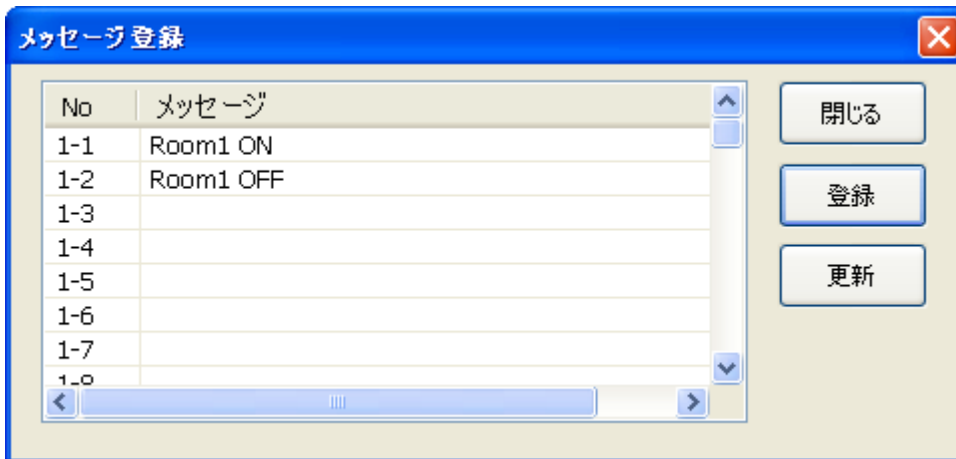
DXP は停止中の時、記録停止ボタンをクリックすると、エラーとなります。

11. メッセージ

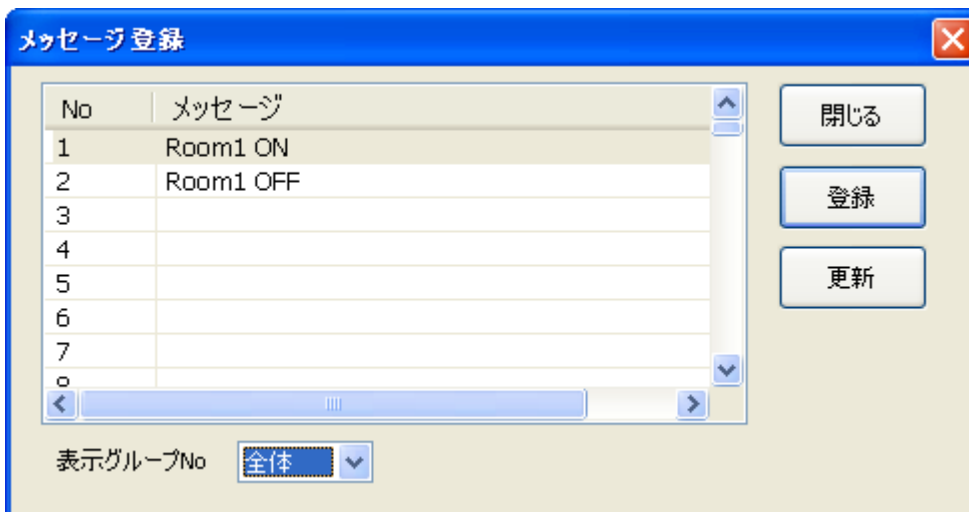
※メッセージ設定・書き込みを行うには、システム管理者かメッセージ権限を持った一般ユーザーで接続して下さい。

メイン画面のメッセージボタンをクリックすると、DXP/DXA に設定されているメッセージを受信して一覧表示します。機能メニューの「メッセージ」も同機能です。

●DXP の場合



●DXA の場合



メッセージをクリックすると編集可能になります。

メッセージを選択して登録ボタンをクリックすると、画面（トレンド）にメッセージが書き込まれます。

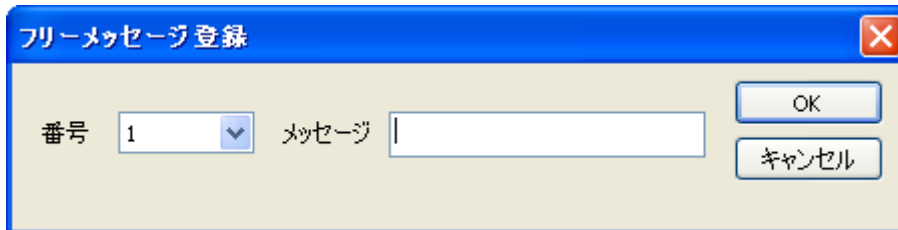
更新ボタンをクリックすると、DXP/DXA に設定されているメッセージを更新します。

表示グループNoは DXA の場合のみ表示されます。どのグループにメッセージを書き込むかを指定して下さい。

12. フリーメッセージ

※フリーメッセージ書き込みを行うには、システム管理者かメッセージ権限を持った一般ユーザーで接続して下さい。

メイン画面のフリーメッセージボタンをクリックすると、フリーメッセージ登録画面が表示されます。機能メニューの「フリーメッセージ」も同機能です。

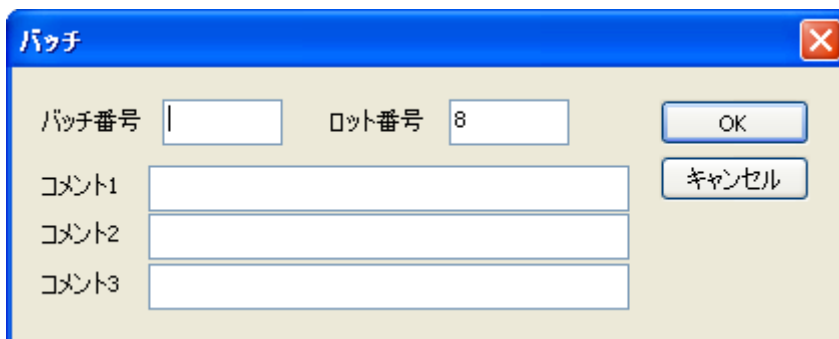


番号を選択し、メッセージを入力してOKボタンをクリックすると、画面（トレンド）にメッセージが書き込まれます。

13. バッチ

※バッチ情報を設定するには、システム管理者かバッチ権限を持った一般ユーザーで接続して下さい。

メイン画面のバッチボタンをクリックすると、バッチ情報入力画面が表示されます。機能メニューの「バッチ」も同機能です。



各項目を入力してOKボタンをクリックすると、DXP/DXA にバッチ情報が設定されます。

メモリスタートしている場合は、コメントのみ設定できます。

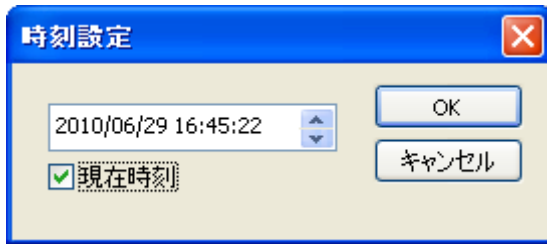
また本ソフトウェアでは、メモリスタートしている時に一旦登録したら、未入力のコメントであっても再度登録することはできません。

DXA でバッチ機能が OFF になっていると設定できません。

14. 時刻設定

※時刻設定は、システム管理者か時刻設定権限を持った一般ユーザーで接続して下さい。

機能メニューの「時刻設定」を選択して下さい。



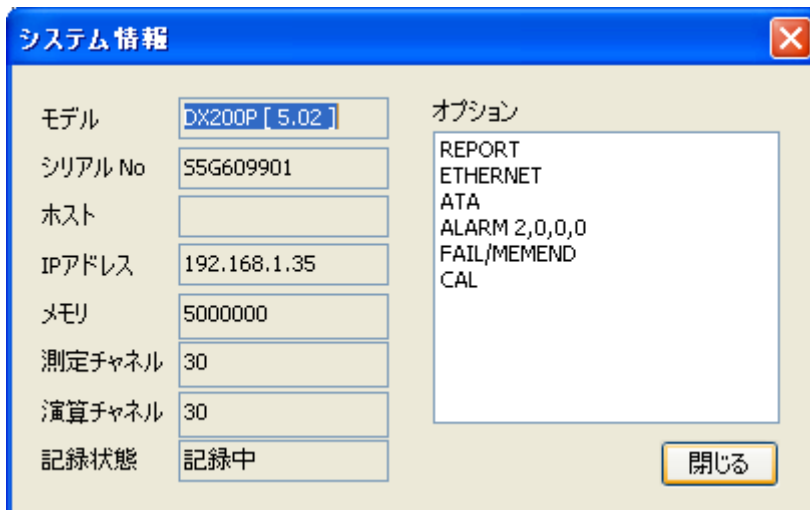
時刻を設定してOKボタンをクリックすると、DXP/DXAに時刻が設定されます。

現在時刻をチェックすると、PCの時刻を設定します。

但し、DXP/DXAに設定されている徐々に修正する限界値を超える時差があるときはエラーとなります。

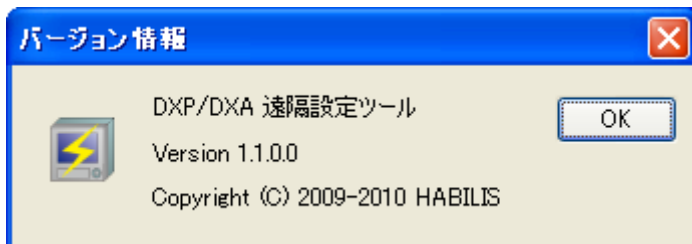
15. システム情報

表示メニューの「システム情報」を選択すると、DXP/DXAの情報を受信して表示します。



16. バージョン情報

バージョン情報を参照するには、メイン画面のタイトルバーのアイコンをクリックして表示されるメニューか、ヘルプメニューから「バージョン情報」を選択して下さい。

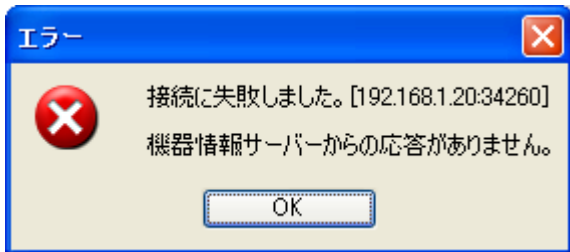


17. エラーメッセージ

操作中の主なエラーメッセージは以下の通りです。

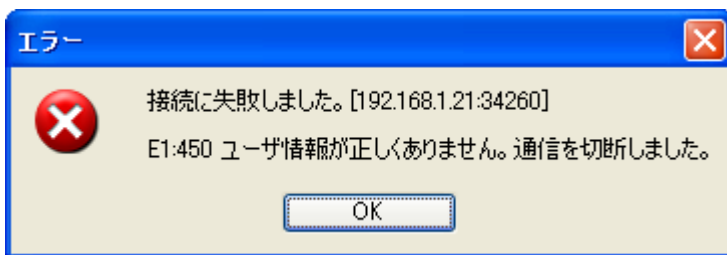
但し、DXP と DXA により若干異なる場合もありますので、正確なエラー内容は機器本体のマニュアルを参照して下さい。

- 指定した IP アドレスの機器が存在しない

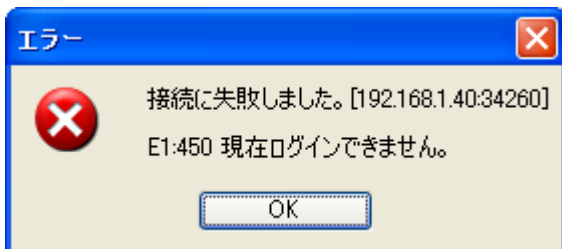


- 指定したユーザー名又はユーザー ID が正しくない

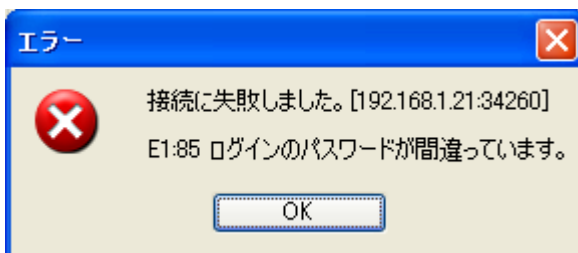
○DXP



○DXA



- パスワードが正しくない

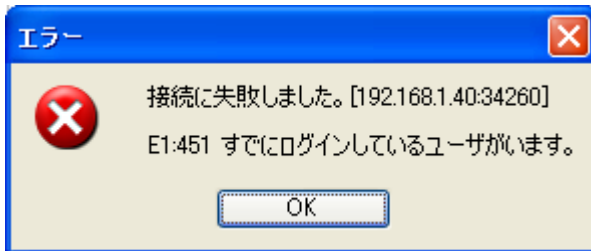


- 既に同一ユーザーが他からログインしている（機器接続時）
又は、他ユーザーが他からログインしている（各設定機能の設定送信時）
（他からログインしている状態とは、DXP/DXA の操作パネル・DAQSIGNIN 又は DAQSTANDARD からのログインを指します）

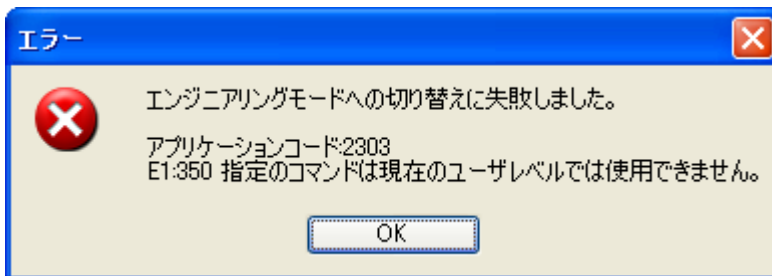
○DXP



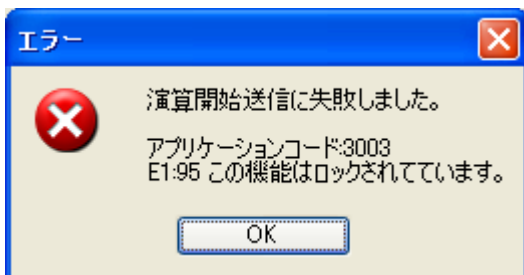
○DXA



- 一般ユーザーでアラーム設定を送信した



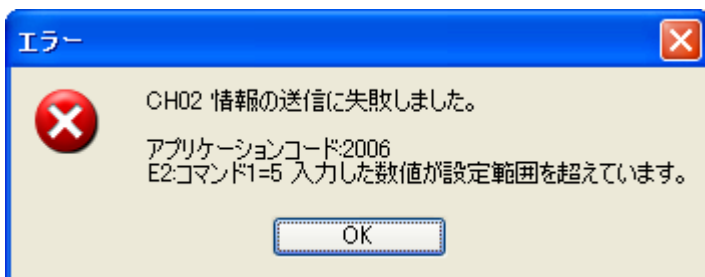
- 記録開始権限を持たない一般ユーザーで記録開始をした



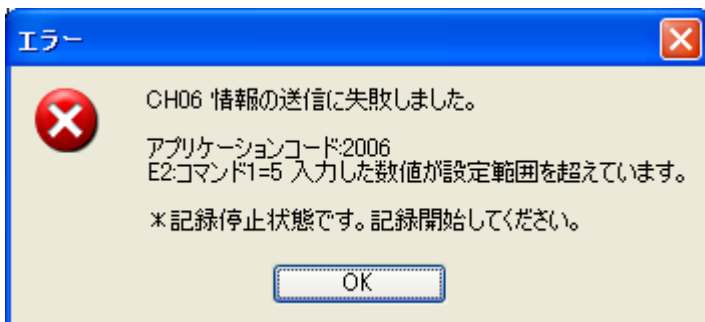
※その他、該当処理の権限を持たない一般ユーザーで設定送信を行ったとき、メッセージ内容は異なりますが、同じエラーコードのメッセージが表示されます。

DXP と DXA では同じメッセージが表示されますが、エラーコードが異なる場合があります。

- レンジ範囲外のアラーム値を送信した

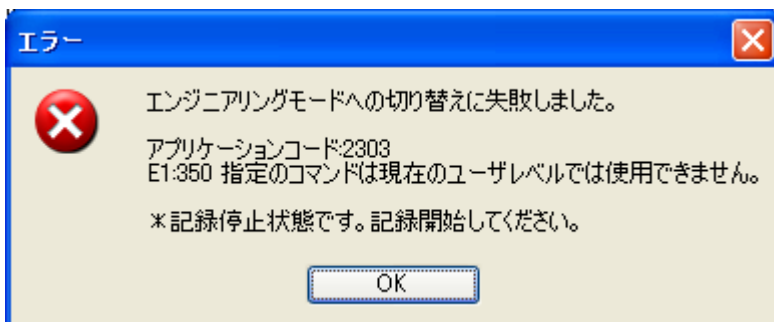


- DXP が記録中のアラーム送信で、レンジ範囲外のアラーム値を送信した。

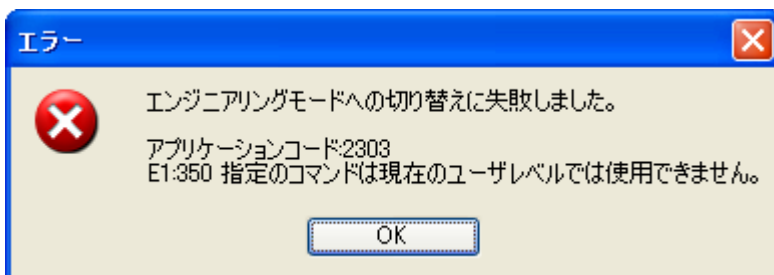


- 記録中に一般ユーザーがアラーム設定を送信した。

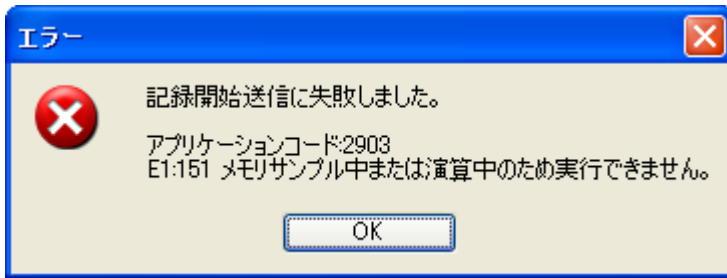
○DXP



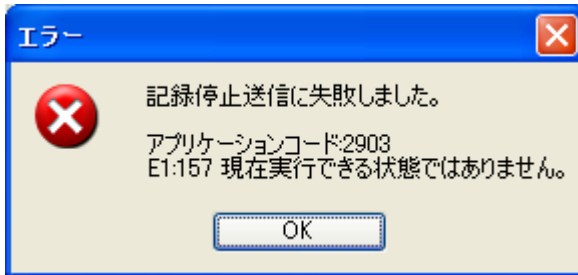
○DXA



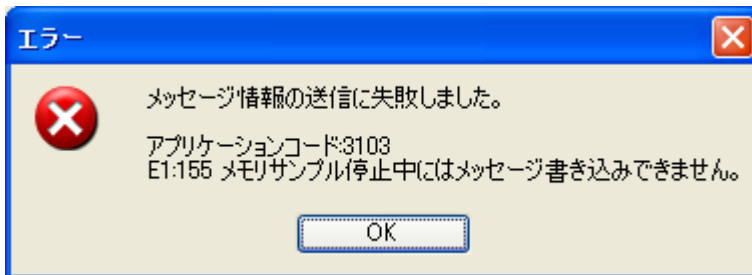
- DXP が記録中に記録開始をした



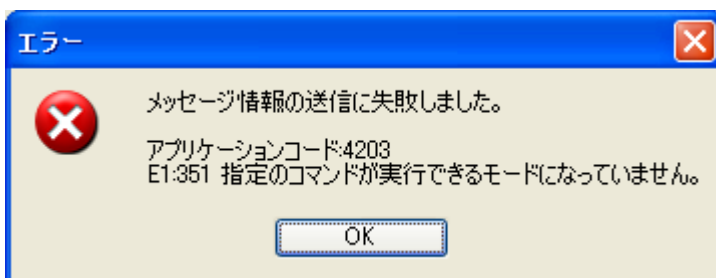
- DXP が記録停止中に記録停止をした



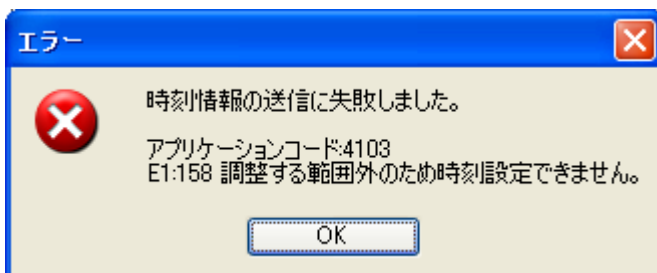
- 記録停止中にメッセージ登録をした (メッセージ及びフリーメッセージ)



- 記録中にメッセージ更新をした



- 徐々に修正する限界値を超える時差の時刻を設定した



- パスワード期限切れで新たに入力したパスワードが半角英数字6～8文字でないか過去に使用されている

